FUJI

あっという間に美しい色

フォトラマ

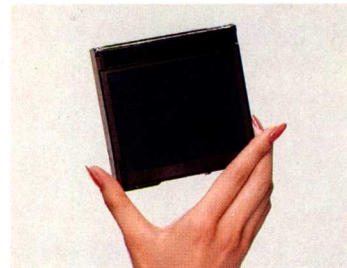
FUJI INSTANT CAMERA & FILM

きれいに写すための撮影ガイドブック

フォトラマ写真をより美しく、より楽しく写すための、大切なポイントをご紹介。

きれいに写すために、操作は正しく行いましょう。

F-60AF、F-50S、F-10ともに操作は基本的に同じです。若干の違いについては各機種の取扱い説明書をご覧ください。

1 フィルムパックは、両端を持って。

フィルムパックを包装から取り出す時や、カメラに装てんする時には、黒色のフィルムカバーを押さえないようにして、必ず両端を持つようにしてください。

2 フィルムパックの装てんは、オレンジ色のラインに合わせて正確に。

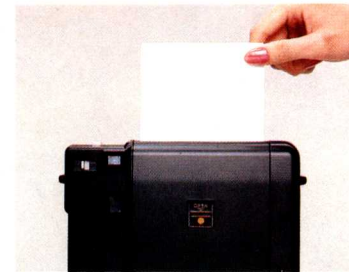
カメラの裏ブタを開けて、カメラのオレンジ色の線とフィルムパックのオレンジ色の線を合わせて、正しく装てんしてください。

3 シャッターを押して、黒色のフィルムカバーを取り出す。

シャッターを押すと、黒色のフィルムカバーが出てきます。これで撮影準備完了です。なお、このカバーは写真立ての脚としても使えますので、残しておくと便利です。

4 さあ、構図を決めて撮影開始。カメラは正しく構えて。

さあ、撮影開始です。被写体に向けてカメラは水平に、正しい姿勢で構えてください。あとはシャッターを押すだけです。(F-50S、F-10の場合は距離合わせを正確に)

5 カメラから出てきた写真は、端を持って取り出す。

シャッターを押し、離すと同時に写真は自動的に送り出されます。カメラから写真を取り出す時は、端を持ってください。

美しい写真は、"30秒間の温度"が大切です。

より美しい写真は、カメラからフィルムが送り出された後の"30秒間の温度"がとても大切です。適温は、15℃～40℃の間です。
特に温度の低い所では、カメラから出てきた写真をただちにポケットに入れるなどして暖めてください。また、ストーブの近くなど極端に温度の高い所はさけてください。

想い出に、ひと言書き添えて。

写真の余白のメモ欄には、文字を書き入れることができます。えんぴつ、ボールペン、サインペンなど何でも使えます。ひと工夫して楽しく生かしてください。

フィルムパックは、写真立てに。

空になったフィルムパックは素敵な写真立てに早変り。黒色のフィルムカバーを溝の所で折り、切り離してフィルムパックの裏側に差し込むだけで簡単に出来上がります。直射日光の当らない場所に飾ってください。

写真をフィルムパックに入れる時、黒色の出口テープをはがし、金属バネを押しながら1枚ずつ入れてください。10枚まで入れることができます。また、撮影直後の写真を入れると液もれを起し画面を黒く汚すことがあります。1日位たってから入れるとよいでしょう。

フィルムの使用は、お早目に。

カメラに装てんしたフィルムは、できるだけ早目に撮るようにしてください。また、未使用のフィルムも有効期限内に使うことをお忘れなく。

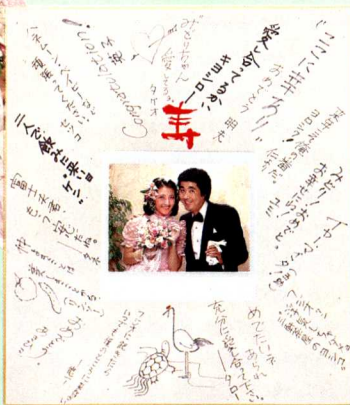
フィルムの入ったカメラは、涼しく、乾燥した場所に。

カメラにフィルムパックを入れたら、涼しく、乾燥した場所に保管してください。また、砂浜や閉めきった車の中など、カメラを温度の高い所へ置いておくと、故障の原因となることがありますのでご注意ください。

フォトラマなら、こんな時、こんな所で、楽しさ大きく広げます。

撮りたい時に、撮りたい所で、"写してすぐその場で楽しめる"のが、フジインスタント写真「フォトラマ」です。
こんな時、こんな所で使って、その場の雰囲気をおおいに盛りあげてください。ひと言添えて手渡せる"メモ欄"が付いているのも「フォトラマ」ならではの魅力です。

田舎のおばあちゃんが訪ねてきた時、お子様と一緒に写して、その場でうれしいお土産に。

結婚式のプレゼントに……

結婚式でパチリ。色紙に写真を貼って、まわりにお祝いのひと言を。その場で渡せる素敵なプレゼント。

楽しいパーティのあのシーン、このシーンを撮影。会話がいっそうはずみます。

お子様のその日の出来事などを写して、帰りの遅いパパにその日のうちに報告できます。

家族の楽しい集まりに……

裕子 5才の誕生日。

誕生日やクリスマス、お正月など、楽しい家族の集まりを、その場で写してその場で楽しめます。

旅先などで出会った人を写して、その場でプレゼント。話のきっかけが生まれます。

祝優勝！ 山田・岡崎ペアへ 7/1

テニスの試合やゴルフコンペなど、優勝の喜びを写してその場で渡せば、感激もひとしおです。

フォトラマなら、さまざまな分野に活用できます。

写したすぐその場で写真を役立てることができる「フォトラマ」。暮らしの中で、仕事の場で…アイデア次第で用途はさまざまに広がります。必要な枚数だけ写せるうえその場で確認できること、日付けや必要事項を書き残せる"メモ欄"が付いていることも「フォトラマ」ならではの魅力です。

お稽古ごとの記録に……

お花やホビークラフトなど、趣味のお稽古の場で、上達や仕上り状態を記録しておくのに便利です。

ビジネス・レポートづくりに……

ビジネスの場で大切な報告書づくり。写真を添えてすばやく提出することができます。

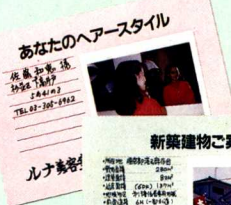
商売の上で生かして……

美容院のフォトカルテ、レストランの写真メニューなど、商売のさまざまな場所で生かせます。

会議のメモがわりに……

会議室の黒板に書かれたことをパチリ。後々の整理や報告に役立てることができます。

料理のメモがわりに……

新しい料理にトライした時にメモがわりにパチリ。わが家のオリジナルクッキングカードも手軽です。

ポケット時刻表として……

バスや電車の時刻表をパチリ。通勤時にたいへん便利です。

スポーツのレッスンに……

ゴルフやテニスなど、フォームをその場で写してその場で検討。スポーツのレッスンの小道具としても最適です。

写真日記づくりに……

その日の出来事をパチリ。お子様の楽しい成長記録づくりも簡単です。

明るい所でも、ストロボを使ってより美しく写しましょう。

「フォトラマ」は、ストロボ撮影がいつでも手軽に楽しめます。夜間・室内はもちろん、明るい所でも補助光としてストロボを活用してください。

木陰や逆光などの時には、日中でも気軽にストロボ撮影を。

暗い木陰でもストロボ撮影をすれば、カゲがなくなり、こんなに表情がイキイキと写せます。

木陰にいる人物をそのまま写すと、木の葉のカゲが顔にかかって、暗くなっています。

太陽がまぶしく感じる時は、太陽をななめ後にしてストロボ撮影を。

写したい人物の顔に太陽の光が直接あたると、まぶしくて目が開けられない、というようなことがあります。太陽がななめ後にくるようにして、ストロボ撮影をすれば、目はぱっちりと！

そのまま写すと、太陽の光がまぶしすぎて、不自然な表情に写ってしまいます。

ストロボ発光OKランプの確認をお忘れなく。

ストロボスイッチをONにして、ストロボ発光OKランプが点滅していることを確認してからストロボ撮影をはじめてください。

2人以上を写す時は、カメラから等距離にならぶように。

2人以上の人物をストロボ撮影する時は、カメラからそれぞれの人物が同じ距離になるように。光が均等にあたって、きれいに写せます。

カメラからの距離がかわってくると、ストロボの光が均等にあたらず、遠くにいる人はこのように暗く写ってしまいます。

光を強く反射させるものには、写す角度をひと工夫して。

バックに鏡やガラスなど、光を反射させるものがある時は、少し斜めから写すなど、反射光が直接カメラに入らないように工夫しましょう。

真正面から写すと、ストロボの反射光により画面にキズのような点ができます。

カメラをタテにして写す時は、ストロボの位置を上にして。

カメラをタテにして写す時は、ストロボがカメラの上側にくるようにしてください。そうすれば、バックの黒いカゲが目立たず、表情も美しく写せます。

● F-60AFで撮影する場合、上の写真のように2人の間があいてしまう時は、フォーカスメモリーをご使用ください。

撮影条件に合わせて、濃淡コントロールを上手に使いましょう。

「フォトラマ」には、写真の濃淡をコントロールするツマミが付いています。通常はまん中にセット、次の様な場合はツマミで上手にコントロールしてください。

写真が白っぽい時には、ツマミを「DARKEN・濃」側に。

被写体が白っぽく写った時にはツマミを「DARKEN・濃」側にセットしてください。こんなにきれいに写せます。

写真が暗い感じの時には、ツマミを「LIGHTEN・淡」側に。

被写体が暗い感じで写った時には、ツマミを「LIGHTEN・淡」側にセットしてください。鮮やかに写せます。

バックが被写体より極端に暗い時は、ツマミを「DARKEN・濃」側に。

被写体よりバックが極端に暗い時には、あらかじめツマミを「DARKEN・濃」側にセットして写してください。こんなにきれいに写せます。

暗いバックで明るい被写体をそのまま写すと、被写体が白っぽく写ることがあります。

バックが被写体より明るい時は、ツマミを「LIGHTEN・淡」側に。

被写体よりバックの方が明るい時には、あらかじめツマミを「LIGHTEN・淡」側にセットしてください。こんなにイキイキと写せます。

明るいバックで暗い被写体をそのまま写すと、被写体が暗い感じで写ることがあります。

自然光で撮影の時は、カメラの濃淡コントロールで…

EE濃淡コントロールつまみは、1目盛が½絞りに相当します。

ストロボ撮影の時は、ストロボ濃淡コントロールで…

ストロボ濃淡コントロールつまみは、1目盛が⅔絞りに相当します。

太陽の光を上手に使って、
イキイキとした表情をとらえましょう。

被写体に、光が均一にあたるように。

被写体に光がまんべんなくあたるようにしてください。ホラッ、こんなに明るく、美しい写真が写せます。また、明るい所でもストロボを補助光として使うことをおすすめします。

屋根や樹木などの影が画面の中に入ってくると、暗い感じの写真になってしまいます。

イキイキした表情はできるだけアップで。

写す時は、できるだけ被写体に近づくように心がけましょう。イキイキとした写真が楽しめます。笑顔も、こんなにこぼれるばかりに！

遠くから写すと、このようにおとなしい写真になって、特に人物の表情が伝わってきません。

インスタント写真からの焼き増しができる

フォトラマは、焼き増しや引伸しができないのでは…と、心配される方がいらっしゃいます。大丈夫です。美しい仕上りで定評あるフォトラマプリントで、焼き増し、引伸しともに簡単にできます。

お近くの写真店で“フォトラマプリント”とご用命ください。

フォトラマプリントには、Lサイズ（89×124㎜）2Lサイズ（127×175㎜）の2種類があります。

美しい仕上がりのために、こんなことを心がけましょう。

写す構えは正しく。レンズやストロボに指がかからないように。

レンズやストロボ発光部に指などがかかったりすると暗く写ってしまいます。また、EE受光窓に指がかかると淡く(白っぽく)写ってしまいます。

シャッターは、静かに、しっかりと。

シャッターを強く押すと手ブレをおこしボケた写真になってしまいます。
また、ストロボを使わず暗い所でシャッターを押す時は、三脚を使用して完全にシャッターが切れるまでシャッターボタンから指を離さないようにしましょう。写真がまっ黒になることがあります。

ストロボ撮影時には、ストロボ発光OKランプの点滅の確認を。

ストロボが充電されていないうちにシャッターを押すと、ストロボは発光せず暗い写真になることがあります。

カメラから写真を取り出す時には、端の方を持って。

送り出されたばかりの写真の画面を指でつまんだりすると、その部分だけ赤紫っぽくムラになることがあります。
また、折り曲げたりすると細い縞模様になることがあります。

取り出した写真は、熱いものの近くに置かないように。

カメラから出てきたばかりの写真を熱い砂の上やコンクリート、ストーブの近くなどに置くと暗い写真になってしまいます。

特に気温の低い所では、取り出した写真をすぐに暖めて。

気温の低い所では、写真が淡い感じになってしまうことがあります。カメラをあらかじめ室内などの暖い所に置いておくか、またはカメラから出てきた写真をただちにポケットの中などで暖めてください。
屋外だけでなく、室内でも気温の低い時もありますので気をつけましょう。

常日頃からカメラはきれいに。

レンズやローラーが汚れていると、ボケたり、ムラになった写真になってしまいます。

フィルムパックの装てんは確実に。撮影中のフィルムカウンターチェックもお忘れなく。

装てんが不充分だとフィルムが引っかかり出てこなくなります。その時は、暗い所で一番上のフィルムを外してもう一度装てんしなおしてください。1~2枚空写しをすればあとのフィルムは大丈夫です。また、フィルムがなくなると写真は出てきません。フィルムカウンターでフィルムの有無を確認してください。
シャッターの押し方が不充分の時にも写真は出てきません。

あっという間に美しい色

フォトラマ

FUJI INSTANT CAMERA & FILM

FUJI INSTANT CAMERA F-50S

FUJI INSTANT CAMERA F-60AF

FUJI INSTANT CAMERA F-10

FUJI INSTANT STROBE S

FUJI INSTANT COLOR FILM FI-10

フジ インスタントカメラには、フジ インスタントカラーフィルムをお使いください。

富士写真フイルム株式会社
東京都港区西麻布2-26-30 〒106

宣宣-82・3-CA・100-1(MW)

きれいに写すための撮影ガイドブック

フォトラマ写真をより美しく、より楽しく写すための、大切なポイントをご紹介。

あっという間に美しい色

フォトラマ

FUJI INSTANT CAMERA & FILM

FUJI
INSTANT CAMERA
F-50S

FUJI
INSTANT CAMERA
F-60AF

FUJI
INSTANT CAMERA
F-10

FUJI
INSTANT STROBE S

FUJI
INSTANT
COLOR FILM
FI-10

フジ インスタントカメラには、フジ インスタントカラーフィルムをお使いください。

宣宣-82・3-CA・100-1(MW)